



繊維のまち桐生 「made in 桐生のマスク」

桐生市内で製造するマスクをPRします。

桐生市では、約1300年前には朝廷へ絹織物を納めた記録が残り（続日本紀）、西暦1600年関ヶ原の戦いでは徳川方の軍旗として大量の織物を献上するなど、古くから繊維のまちとして歴史があり、江戸時代には「西の西陣、東の桐生」とうたわれました。その後も、デザイン、撚糸、染め、織り、刺しゅう、縫製など繊維に関する各工程技術が集積した全国有数の繊維産地です。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため全国的にマスクの需要が高まっています。繊維のまち桐生ではマスク不足に対して、集積する各種繊維事業者がそれぞれの技術とセンスを活かしてオリジナル布マスクを製造販売しております。

以下のホームページには各事業者のマスク情報を集めておりますのでどうぞご確認ください。

- 繊維のまち桐生 「made in 桐生のマスク」（桐生市ホームページ）
<http://www.city.kiryu.lg.jp/sangyou/guide/1017011.html>
- 「made in 桐生のマスク」（桐生商工会議所ホームページ）
<https://www.kiryucci.or.jp/html/project/mask/index.html>

問い合わせ

産業経済部商工振興課工業労政担当
担当 貞形

TEL 0277-46-1111（内線564・565）